

フロアヒンジの取扱いについて

1. 取付けをされる業者の皆様へ
本書は必ずご施主様または管理者様へお渡しください。
2. ご施主様・管理者様へ
当社商品をお買い上げいただきありがとうございます。
商品を正しくご使用いただくために、この「フロアヒンジ取扱いについて」をよくお読みください。いつでもお読みになれるよう大切に保管してください。

1.フロアヒンジの機能説明とお願い

- 1.) この商品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくりと閉じる構造になっています。季節の温度変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとケガをすることがありますのでご注意願います。
ドアの閉じる速度は、速度調整弁によりコントロールすることができますので、商品説明書に記載した方法で調整してください。また、閉じかけているドアを閉じる方向に強く押したり引いたりしないでください。
強制的な閉扉操作はドアの閉鎖停止位置がずれたり、フロアヒンジ本体内部の油が漏れたりして、閉扉速度が調整不能となる原因になります。
- 2.) フロアヒンジ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または施工業者様に修理、交換依頼をしてください。油漏れは放置しておく、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- 3.) フロアヒンジ本体は分解、改造または速度調整弁を必要以上に回転操作しないでください。中の部品（バネなど）や油が飛び出して思わぬケガをしたり、衣服やドア、床などを汚すおそれがあります。
- 4.) 床のクリーニング時は、洗剤、薬品、水などをフロアヒンジにかけないでください。腐食やオイルシールの劣化による油漏れの原因につながるおそれがあります。時々フロアヒンジのフロアプレートを外し、内部に水が侵入していれば取り除いてください。
- 5.) フロアヒンジは、機構上一定角度を超えてドアを開く（オーバーアクションという）と、内部機構に無理が生じて破損するおそれがあります。オーバーアクションはドアが強風によってあおられたり、人がぶつかるなどの衝撃を受けた場合に不可抗力的に発生します。フロアヒンジが破損すると、ドアが自動的に閉じなくなったり、閉鎖停止位置がずれたりします。また、オーバーアクションが起きるとドアが破損することもあります。いずれの場合も危険防止のためドアの使用を止め、速やかに修理依頼をしてください。

2.異常を感じられた際の対処方法 （調整が難しい場合は、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様または施工業者様にお問い合わせください。）

現象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	速度調整方法を参照してください
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが悪い	速度調整弁	
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	フロアヒンジ本体	まず、建築会社様、工務店様、または施工業者様に修理、交換依頼の手配をお願いします
ドアの閉鎖停止位置があわなくなった	オーバーアクション、強制的な閉扉操作、フロアヒンジ本体の調整ネジの緩み、フロアヒンジ本体・部品の摩擦や破損、部品取付ネジの緩み	フロアヒンジ本体の調整ネジ部品取付ネジ、フロアヒンジ本体、部品	
ドアの開閉時に異音が生じるようになった	フロアヒンジ本体の調整ネジの緩み、部品取付ネジの緩み	フロアヒンジ本体の調整ネジ、部品取付ネジ	
ドアがスムーズに開閉できなくなった	部品取付ネジの緩み 軸受け部の磨耗	部品取付ネジ 軸受け部	
ドアが自動的に閉じなくなり、ぶらぶらするようになった	オーバーアクション	フロアヒンジ本体	